

2025年度・第35期

日本人奨学生募集要項

Announcement

of the 2025 ITO Scholarship Awards for Japanese Students

公益財団法人 伊藤国際教育交流財団

ITO FOUNDATION FOR INTERNATIONAL EDUCATION EXCHANGE

公益財団法人伊藤国際教育交流財団では、日本から海外の大学等の修士課程に留学する日本人留学生を対象に奨学金の希望者を次のとおり募集します。

設立趣旨

公益財団法人伊藤国際教育交流財団は宗教法人真如苑開祖・故伊藤真乗大僧正の遺志により設立されました。

伊藤真乗大僧正は1906年3月28日に山梨県で出生。1936年に立教。真言宗総本山醍醐寺において、伝統の奥義を修めて大阿闍梨となり、仏陀がその偉大なる生涯の終わりにのぞんで説き遺された大般涅槃経を所依とする在家仏教教団を開設。1989年7月19日にご遷化されました。

伊藤真乗大僧正は教育の必要性に対し深い理解を持ち、生前には世界的見地に立って、学術研究への協力に努め、あわせて社会奉仕、発展途上国への教育助成を推進し、さらに国家間の多様な問題に対応しうる人材の育成に力を注がれました。

伊藤国際教育交流財団は、伊藤真乗大僧正の遺志を受け継ぎ、誠実で才能に満ち、かつ独創的な青年たちのために奨学金の援助並びに海外の大学等研究機関が実施する学術研究に対する助成支援を行い、もって我が国と諸外国との相互理解の促進に寄与するとともに、世界に貢献できる人材の育成を目的としております。

設 立

設立認可：1991年2月28日、公益財団法人移行日：2010年11月1日

基本財産

1,600,000,000円

役 員

- 〈理 事 長〉 鈴木啓介 / 東京工業大学名誉教授/特命教授、日本学士院会員
- 〈理 事〉 大友康裕 / 国立病院機構災害医療センター病院長
奥山倫明 / 東洋英和女学院大学人間科学部教授、死生学研究所所長
岸田一雄 / 宗教法人真如苑 教務長補佐
木村元昭 / 日本大学理工学部教授
三野弘文 / 千葉大学大学院国際学術研究院教授、同大学副理事（全学教育）
山中正浩 / 立教大学理学部化学科教授
吉田明子 / 東洋大学経済学部教授
渡部史央 / 京都産業大学外国語学部教授
- 〈監 事〉 佐藤瑞枝 / 公認会計士、税理士
和田正隆 / 弁護士
- 〈評 議 員〉 小倉暢之 / 琉球大学名誉教授
金子昌信 / 九州大学大学院数理学研究院教授
佐渡島紗織 / 早稲田大学国際学術院教授
高杉忠明 / 神田外語大学名誉教授
立川壮一 / 藤田医科大学名誉教授
馬越恵美子 / 桜美林大学名誉教授、(株)ダイヘン取締役、
アクサ・ホールディングス・ジャパン(株) 取締役、異文化経営学会会長
簗内佐斗司 / 東京藝術大学名誉教授、奈良県立美術館館長、
ビューティ&ウェルネス専門職大学副学長、彫刻家
山本修一 / 元 日本大学理工学部教授、数学者、理学博士

(2024年6月24日時点)

奨学金の内容

生 活 費	月額US 1, 500～2, 000ドル相当の円貨 ※地域によって異なる。 ※為替レートの変動により生活費（円貨支給額）を調整する。		
旅 費	実費（限度額範囲内）	授 業 料	実費（年間300万円以内）
奨 学 期 間	原則、2年以内とする。 ※昨今の修士課程の多様化により、3年間で専門資格が得られるコースもあり、これらのコースに入学を希望する方の応募も可能。 ただし、生活費と授業料は、上記支給額を調整の上、支給する。 【＜例＞3年間（36ヶ月）のコースの場合】 授業料の支給額は、実費（年間200万円以内）×3年間。 生活費も同様に調整。		
募 集 人 数	10名程度 応募資格を満たす方。研究テーマの分野は問いません。		

※研究テーマに基づいて区分していたプログラム（“一般プログラム”・“特別プログラム”）については、統一しました。

応募書類提出締切

2024年8月23日（金）当日消印有効 <厳守>

※出し忘れや郵便事情などによる紛失・遅れでも、選考に間に合わない場合は審査できませんので、予めご了承下さい。配達の確認は配達記録、書留などをご利用下さい。

- ① 申請者は提出書類を揃えて、当財団へ「角2の封筒」・「レターパック」等でお送り下さい。
その際、封筒裏面右下に、「留学先国名」を必ず明記して下さい。
- ② 提出は郵送をお願いします。※財団への持参は審査対象外となります。
- ③ 郵送先

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-4 江戸ビル8階
公益財団法人 伊藤国際教育交流財団 日本人奨学金係

応募資格

- ① 日本国籍を有し（日本で初等～中等教育を受けた外国国籍の方も可）、日本から諸外国の大学等の大学院修士課程（またはそれに準ずる課程）に正規生として入学を予定している方で、成績、人格ともに優秀で経済的援助を必要としている方。なお、専攻分野は問いません。
※修士博士一貫コースの初年度から入学する方も応募可能です。
ただし、支給期間は、修士に準ずる課程の期間（初年度から最大2年間）とします。
※ディプロマコースへ留学予定の方は事務局までご相談下さい。
- ② 2025年1月から12月末日までに入学予定の方
- ③ 2024年11月10日(日)または11月24日(日)に行われる日程のうち、財団が指定する日に面接を受けられること
- ④ 当財団の奨学生として、留学前にガイダンスに参加できること
- ⑤ 2025年4月1日時点において、年齢が29歳以下の方が望ましい
2025年4月1日時点で30歳以上の方は「今、留学を希望する理由」を提出すること
(P7 ロ. 対象者のみが提出する書類11. を参照)
- ⑥ 日本在住で、日本国内から海外へ留学する方

※以下の方は、応募対象外となります。

- 2025年度に博士後期課程へ留学予定の方
- 留学先に研究生、研修生、専攻生、聴講生、交換留学生等として留学予定の方
- 他の機関から奨学金の援助または特典を受ける方 (ただし、大学からの学費免除は除く)
- 現在の職場に在籍したまま留学する方 (休職者・現職への復職予定者も応募対象外)
- 海外在住者
(募集期間以降、日本にいないこと。留学や仕事の関係で、一時的に海外に在住している方はご相談下さい。)
- 日本に居住のまま、オンライン受講のみで修士号を取得する予定の方
(渡航制限等で、一時的に留学先に渡航できない場合も、制限が解除され十分な安全が確保できる場合は、留学先に渡航し研究に従事することを原則とします。)

※生成AIの使用について（申請者は必ず以下を確認し、順守して下さい）

伊藤国際教育交流財団（以下、「当財団」と表記）奨学金への申請書類作成に当たり、以下にご注意下さい。

個人情報や研究の新奇性に関わる内容などの機密情報(未発表の論文や未公開の研究成果等)は、決してChatGPTなどの生成AIに入力しないでください。こうした情報を入力し、その結果、下記①②等の状況が生じた場合、当財団としては一切その責任は負いませので、ご承知おき下さい。

また、自動作成された文章など、生成AIが出力した結果を十分な検討をせず、当財団宛の奨学金申請書の作成に利用し、下記③等の結果となった場合も当財団としては、一切責任を負わない事をご承知おき下さい。

①未発表の内容（論文や申請書等）や未公開の情報（研究成果等）を生成AIに入力し、情報流出や情報漏洩に繋がった場合

②個人情報やプライバシーに関する情報や秘密情報を生成AIに入力し、情報漏洩に繋がった場合

③作成した内容が著作権侵害や研究活動における「不正行為」（盗用や剽窃）に該当した場合

提出書類

提出書類には、イ. 申請者すべての方が提出する書類（下記 1. ～ 6.）とロ. 対象者のみが提出する書類（P 7、7. ～ 12.）の 2 種類があります。必要書類を揃えて、当財団宛に郵送して下さい。

イ. 申請者すべての方が提出する書類

各書類の注意事項を必ず読み記入、作成して下さい。（各種書類のサイズは、A 4 サイズでお願いします）。昨年まで申請願書は全項手書き記入でしたが、本年度より、その一部が PC 入力となりました。

書類名	留学先言語	書式	言語	作成様式	
				手書	PC
1-1. 申請願書 2025-①～④ 財団指定フォーム (Excel ファイル) に PC 入力の上、印刷し他の書類と一緒に送付して下さい		枠内に設定済みの書式 (フォント・サイズ) に沿って入力下さい (指定フォーム上の注意書参照)	日本語	×	○
1-2. 申請願書 2025-⑤～⑧ 財団指定フォーム (手書き指定)		※文字のサイズを含め、読みやすい字で記入	日本語	○	×
2. 推薦書 1 通 (2 通まで提出可)		“推薦書 表紙” (指定フォーム) と推薦文	日本語 (日本語を母国語としない場合は、英語でも可)	○	○
3. 成績証明書 (コピー不可)		大学等にて発行	日本語または英語 (上記以外は日本語訳添付)	—	—
4. 研究論文の要旨		2,000 字程度 ※参考文献の文字数は除く	日本語	×	○
5. 留学先での研究テーマ	英語圏 ※2	1,500-2,000 words 程度 ※参考文献の文字数は除く	英語	×	○
	英語圏以外	2,000 字程度 ※同上	日本語	×	○
6. 語学力証明書 (コピー可)	英語圏 ※2	TOEFL または IELTS のスコア及び評価	—	—	—
	英語圏以外	公的機関による、語学検定試験の成績証明書	日本語・英語以外の証明書には、日本語訳を添付	—	—

※1 上記 4 研究論文の要旨、5 研究テーマの参考文献の記載方法について：文献を引用した場合は必ず本文中の該当箇所に [1] [2] … と整理番号を付与し、本文末に番号順に文献の論文タイトル/書名、筆者名、発表年および該当ページを記載して下さい。

※2 英語圏とは、英語で授業が行われる大学も含みます。

※提出書類における注意事項について

書類不備、提出書類の不足、指定以外の追加書類提出、指定に従わない書類は審査対象外となります。

次に掲げる諸注意を確認の上、作成して下さい。

なお、提出できない書類がある場合は、当財団に電話連絡し、指示を受けて下さい。

《共通注意事項》

- ① 書類はA4用紙で全て黒のボールペンを使用し（フリクションペンなど消えるインクのペンは使用不可）、楷書（アルファベットは活字体）で記入して下さい。
修正液等は使用しても構いません。
- ② 提出書類、作品等は一切返却できません。
- ③ 願書や書類等は、ホチキス・クリップ等で留めないで下さい。

《1. 申請願書》

- ① 申請願書（財団指定用紙 2025-①～⑧）は計8枚あります。このうち、①～④はPC入力にて、⑤～⑧は全て手書きによる作成となります。なお、作成にあたり、用紙上の枠線等を広げたりレイアウトを変更したりしないようにお願いします。
- ② 申請願書 2025-①～④は、指定のエクセルデータに入力後、各ページ A4 サイズで印刷し、他の書類と一緒に送付して下さい。④については文字数に指定があります。また、選択式の設問（薄水色セル）はプルダウンから選択して下さい。
- ③ 申請願書 2025-⑤～⑧（PDF ファイル）は A4 サイズで印刷し、申請者本人が、黒のボールペン（フリクションペンなどは使用不可）を使用し、全て手書き（日本語）で記入して下さい。
- ④ 申請願書 2025-①に証明写真を貼付して下さい。（データでの貼り付けはしないで下さい。）
- ⑤ 願書の内容をよく読み、枠内に収まるように簡潔にまとめ、作成して下さい。
申請願書2025-②の「学歴・職歴」「研究業績・受賞歴」、2025-③の「現在までに受けた奨学金」「家族状況」については、枠内で入力しきれない場合、同じページをコピーして、続きを入力し、印刷の上、提出して下さい。上記4項目以外は、別紙による追加は認められません。また、コピーする事により、例えば、2025-②が3枚となった場合でも、項数は修正せず、3枚とも2025-②のままで提出してください。
- ⑥ 「奨学希望期間」は、留学先大学の授業開始月から修士課程に在籍する期間で、原則として2年以内になります。（例：2025年8月～2027年7月）
- ⑦ 手書き文字のサイズ（目安）：小さすぎず、読みやすい字で記入して下さい。

《2. 推薦書》

- ① 推薦書は申請者本人や申請者の研究などについて、よくご存知の方をお願いして下さい。
- ② 財団指定用紙“推薦書 表紙”を必ず添付して提出して下さい。
“推薦書 表紙”がない場合は審査対象外となります。
- ③ 別紙《推薦者の方へ：推薦書の記入について》の注意事項を厳守し、必ず厳封にて提出して下さい。

《 3. 成績証明書 》

- ① 高校卒業以降に在籍したすべての高等教育機関の成績証明書を提出して下さい。
高等教育機関とは、大学学部、大学院の他、高等専門学校、専門学校、短大、交換留学等海外の大学等を含みます。
- ② コピーは認められません。但し、交換留学先の成績が入手困難な場合はコピー可とします。
- ③ 英語または日本語以外の証明書の場合は、別紙で日本語訳を添付して下さい。
- ④ G P Aによる評価が行われている大学は、G P Aが記載された成績証明書を提出して下さい。

《 4. 研究論文の要旨 》

- ① 学位論文やゼミ論文等の研究論文について、PCにてA4用紙に2,000字程度（1,500～2,500字）の日本語でまとめて下さい。
- ② ページ毎に氏名、ページ数/総ページ数を必ず記入して下さい。
- ③ 論文がない場合は、大学で勉強したことをまとめて下さい。
- ④ 卒業論文または研究論文と、留学先での専攻が異なる場合は、現在の専攻に至る経緯も含めてまとめて下さい。
- ⑤ 文献を引用する場合は、必ず出処を記載して下さい(記載方法はP4のリスト欄外※1を参照)。

《 5. 留学先での研究テーマ 》

- ① 留学先での研究テーマについて、具体的にまとめて下さい。
- ② ページ毎に氏名、ページ数/総ページ数を必ず記入して下さい。
- ③ 留学予定先言語により、I、IIと指定が異なります。
 - I. 英語圏の国（英語で授業が行われる大学を含む）に留学予定の方
 - 英語：PCで、A4用紙5枚程度（1,500～2,000words）にまとめて下さい。
 - II. 英語圏以外の国に留学予定の方
 - 日本語：PCで、A4用紙に2,000字程度（1,500～2,500字）にまとめて下さい。
- ④ 文献を引用する場合は、必ず出処を記載して下さい(記載方法はP4のリスト欄外※1を参照)。

《 6. 語学力証明書 》

- ① 留学予定先言語により、I、IIと指定が異なります。
 - I. 英語圏の国（英語で授業が行われる大学を含む）に留学予定の方
 - TOEFL（ITPは不可）またはIELTSの成績（コピーを提出）
 - 成績は、スコアだけでなく評価の部分も提出して下さい。
(申請者本人の氏名が明記されていること。)
 - TOEFL iBTで受験し、かつ書類のコピーが提出できない場合は、オンライン上の画面を印刷し提出して下さい。ただし、記載されている氏名、現住所が願書と同一であるもののみ可とします。
 - II. 英語圏以外の国に留学予定の方
 - 公的機関による語学検定試験の成績証明書（コピーを提出）
※日本語、英語以外の証明には日本語訳を添付して下さい。
- ② 海外で、今回の留学先言語と同じ言語の4年制大学（学部）を卒業している方
 - ①の語学力証明書の提出を原則としますが、海外で、今回の留学先言語と同じ言語の4年制大学（学部）を卒業している方は、学部の成績証明書とA4用紙に代用提出の旨を記入した「理由書」をもって代用することができます。

③ 締切までに TOEFL, IELTS のスコア結果が間に合わない方

A4用紙で「遅れる理由書」を作成し、願書と一緒に、締切日の2024年8月23日（金）までに提出して下さい。

その上で、スコア結果を追加書類として、2024年9月6日（金）必着で当財団へ郵送して下さい。9月6日（金）までに届かない場合は、審査対象外となります。

また、一度提出したスコアの結果は差し替えできませんので、予めご了承下さい。

ロ. 対象者のみが提出する書類

申請者は自分が該当するかよく確認の上、提出漏れがないようご注意ください。

書類名	対象者	内容
7. 私の夢 【PCでの作成可】	留学先が英語圏以外の方 (英語圏とは、英語で授業が行われる大学を含む)	「私の夢」をテーマとした作文を <u>留学先の言語</u> で、A4用紙 2 枚程度にまとめて作成。 ※日本語訳を添付すること
8. 留学予定大学の資料	中南米・アジア・中近東・アフリカ等へ留学予定の申請者	留学予定大学についての資料 日本語・英語以外の場合、日本語訳も提出。
9. 作品 【サイズは、大きくてもA3サイズ程度とする】	芸術関係専攻 → 必須 建築関係専攻 → 任意	a) 音楽関係 → CD・DVD (録音時間は特に指定なし) ※ブルーレイディスクは不可。 b) 絵画及び彫刻等 → 写真(枚数は特に指定なし) c) 映像関係 → DVD ※ブルーレイディスクは不可。 上記以外は当財団にご相談下さい。
10. 作品の評価書 (1 通) 【PCでの作成可】	9. 作品を提出する方 ※任意で作品を提出した方も含む	①提出作品についての第三者の専門家(※)による評価書 (A4用紙 1、2 枚程度) <u>レターヘッド付の評価書を厳封にて提出。</u> ※推薦書の記入者と同じ方でも可 ②文章は <u>日本語</u> (日本語を母国語としない場合は <u>英語</u>)で作成し、最後に <u>執筆者の役職・署名(自筆)・捺印またはサイン</u> を記入。 ③申請者と執筆者との関係も記入。
11. 「今、留学を希望する理由」 【PCでの作成可】	<u>2025年4月1日時点で30歳以上の方</u>	30歳を越えて修士課程留学を目指す理由をA4用紙 <u>1枚程度</u> に日本語で具体的に記入。
12. 留学先大学の入学許可書または合格通知書【コピー可】	既に取得済の方 ※条件付合格の方も含む	合格済で、留学先大学の入学許可書及び合格通知書を既に取得されている方。

個人情報の使用について

奨学金申請から採用決定の諸手続きにおいて当財団が取得した情報やデータ（願書や申請書類の内容を含む）、並びに奨学期間中及び奨学期間終了後に当財団が取得した情報やデータは、すべて個人情報として取り扱われます。当財団は個人情報に関する法令を遵守し、取得した個人情報は以下の事業内容に基づく使用目的以外には本人の許可なく利用いたしません。また、当財団の「個人情報保護規程」に則し、管理いたします。使用目的に照らして不要となった個人情報については、一定期間保管した後、破棄いたします。

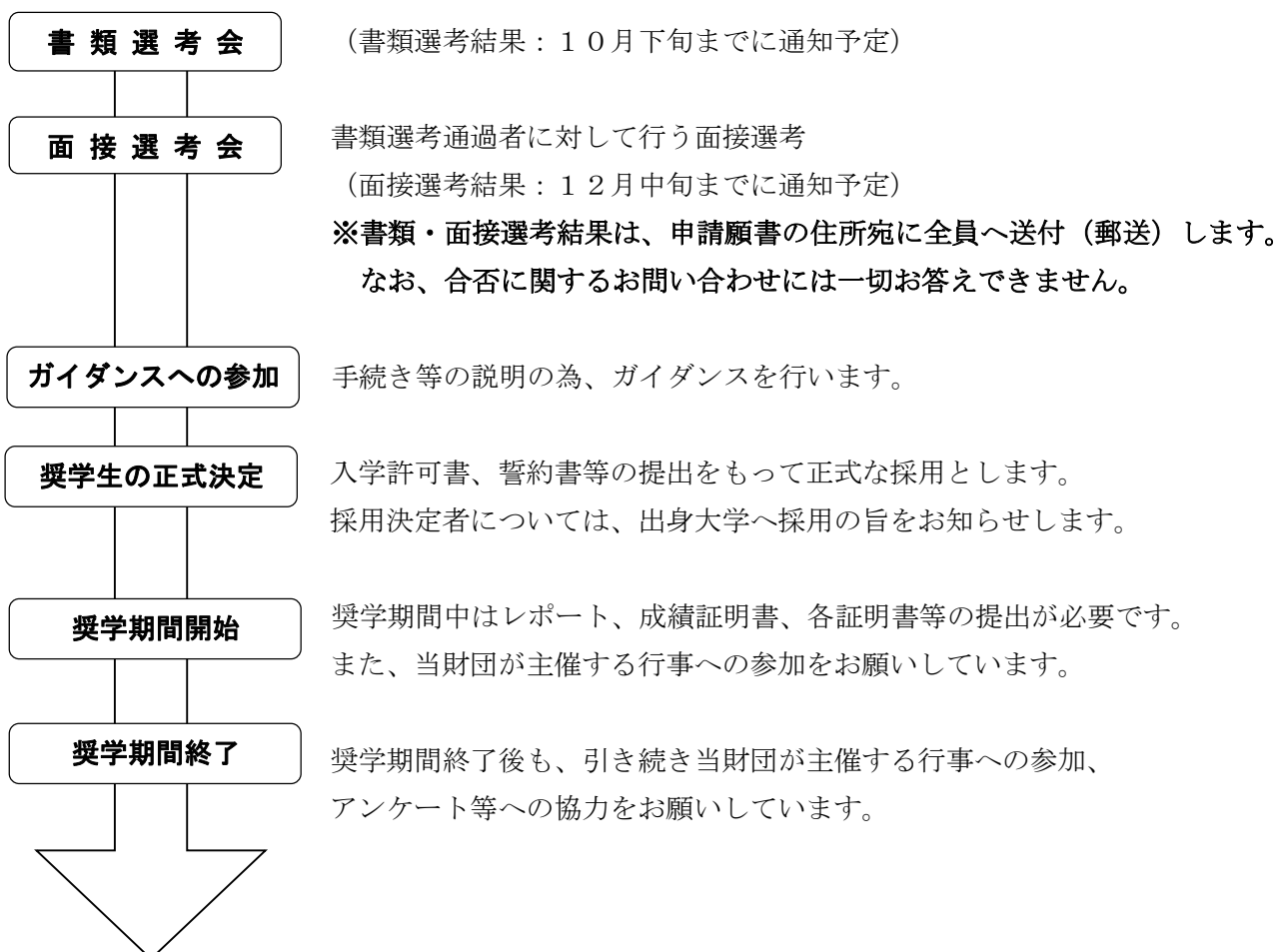
【事業内容】

- ④ 日本人奨学生に対する、奨学金給付事業
- ⑤ その他目的を達成するために必要な事業（交流事業等）

【使用目的】

- ① 日本人奨学生選考に関する諸手続き（募集、選考、承認から採用決定まで）のため
- ② 奨学金支給に関する諸手続きのため
- ③ 当財団の出版物（当財団の機関誌、採用者リスト、各種名簿等）やWEB等への掲載のため
- ④ 官公庁、大学、関連財団などへの選考結果等の報告のため
- ⑤ 全般的な留学事情の把握、調査など、奨学金事業を充実するため
- ⑥ 当財団の広報活動のため
- ⑦ その他、応募者や採用された奨学生とのやりとりを適切且つ円滑に履行するため

選考から採用後の流れ



FAQ

Q 1. 現在海外に留学していますが、海外から応募はできますか？

A n s . 海外在住者は応募対象外です。

(日本在住で、日本国内から海外へ留学する方を対象としております。)

Q 2. 今年の夏(秋)から留学しますが応募できますか？

A n s . 応募対象外です。今年留学する奨学生は昨年中に決定しています。また、すでに修士課程に留学している方向けのプログラムはありません。

Q 3. まだ大学院に合格していませんが、応募できますか？

A n s . 応募可能です。第一希望の大学院に合格することを前提に応募していただくことになります。

Q 4. 語学留学する予定ですが応募できますか？

A n s . 応募対象外です。1年以上2年以内の期間、修士課程の正規生として留学する方が対象です。

Q 5. これからTOEFLを受けるのですが、応募締切迄に間に合いません。応募できますか？

A n s . 応募可能です。「遅れる理由書」を記入し提出して下さい。その上でスコア結果を追加書類として2024年9月6日(金)必着で当財団へ郵送して下さい。

(詳細は募集要項のP6、《6. 語学力証明書》の③を参照)

Q 6. TOEFLなどのスコアの基準はありますか？

A n s . 何点以上という具体的数値基準はありません。採否に関しては申請書類を総合的に判断しています。ただし、留学先で研究、生活するにあたり支障のない語学力は必要です。

Q 7. どのような専攻分野の方々が採用されていますか？

A n s . 専攻分野は問いません。文系、理系、音楽系、美術系など様々な分野の方が採用されています。今後、社会に貢献する人材になっていく方であれば、どんな専攻分野でも構いません。

Q 8. 修士課程が2年以上なのですが、応募は可能ですか？

A n s . 3年以内であれば可能です。奨学金の支給は、2年間の奨学金(生活費・授業料)を調整の上、支給します。

その他、疑問点、ご相談がある場合には当財団まで電話でお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・郵送先

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-4 江戸ビル8階
公益財団法人 伊藤国際教育交流財団 日本人奨学金係
電話 03-3274-6250 FAX 03-3274-6252
Home Page: <https://www.itofound.or.jp>
※土、日、祝日を除く午前9時～午後5時まで受け付けます。